日本観光研究学会機関誌「観光研究」論文等定型書式フォーマット
―副題　12 ポイント・太字―

Title(英文表題、―英文副題―) 11point で記入

日本　太郎*、観光　花子**、研究　二郎***
NIHON Taro*，KANKO Hanako**，KENKYU Jiro***

日本語の論文では 6 行以上 8 行以内の英文要約を付ける。要約は 9 ポイントで、左右の行端は、本文の左右行端からそれぞれ 2 字分さげること。また、要約文は字下げせず 1 文字目から両端揃えで記し、パラグラフ分けしないこと。要約文の頭に、「要約」「summary」の表記は必要ない。なお、研究ノート・資料・調査報告、論説の場合、日本語の原稿では 6 行以上 8 行以内の日本語要約を付けること。討議、書評・文献紹介の場合は、不要です。○○○

トで記すこと。日本語キーワードには英訳をつけること。なお、行端は要約とそろえ、本文から左右 2 字分さげる。また、英語キーワードは固有名詞以外の語頭は小文字にすること。–

キーワード:観光(tourism)、観光対象(tourist object)

(5) 各表記の行間

表題と英文表題の間はあけない。英文表題と著者名の間は１行あけ、著者名とローマ字氏名の間はあけない。

論文、研究ノート・資料・調査報告、論説の場合、ローマ字氏名と要約、要約とキーワード、キーワードと本文の間はそれぞれ１行あける。それ以外の原稿は、ローマ字氏名と本文の間は１行開ける。

(6) 所属の表記

所属は１ページ目下端部の２行分を用いて表記する。１行は本文との境界線に使い、境界線下１行に 10 ポイントを用い、「*所属」の形で記すこと。連名で所属が異なる場合は、「**」、「***」とし、著者名の表記部分に付した*印と対応させる。所属は簡潔に記すこと。

４． 本文

(1) 本文の文字サイズ

本文には 10 ポイントを用いる。

(2) 本文の章題等

本文の章題等は以下のように統一する。これ以外の小項目はなるべく避ける。

章　１．２．３．　（数字は、全角・ゴシック体。章題の上に空白行１行をいれる）

節　(1)　(2)　(3)　（同、半角・ゴシック体、節題の上には空白行を入れないこと）

項　1)　2)　3)

（同、半角・ゴシック体、項題の上には空白行を入れないこと）

数字の後に半角スペースを入れる。章題等の文字部分は全てゴシック体（太字にはしない）とする。章と章の間は一行あけること。

(3) 図・表・写真

それぞれのサイズが１ページを超えないものとする。また、図表中の文字等が十分視認できるように留意しなければならない。

図・表・写真のレイアウトは、縦方向については、誌面の天地に割り付けること。横方向については、図の横幅を本文の段組の１段分または２段分にあわせ、図・表・写真を段の中途で切りその左または右側の余白に文章を回り込ませて配置することは避けること。

記載の各順に図－１、表－１、写真－１のように通し番号をつける。図および写真の場合は下に、表の場合には上に通し番号とタイトルをいれる。通し番号とタイトル文字はともに、原則としてゴシック体（太字にはしない）、10 ポイント、センタリング

表－１　センタリングして配置

図－１　センタリングして配置

表－２　センタリングして配置

で表記する。

さらに、論文にはカラーの図や写真、表を含めてよいが、機関誌掲載時は白黒印刷になることを前提に作成すること。

※word 操作の補足：図表の貼り付けは、拡張メタファイル形式で行うこと、その際、挿入した図表部分の間隔を「１行」（Word における段落・間隔の設定時）とすることをあわせて推奨する。

○○○

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ
㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㍻㍼㍽㍾㍿㍼㍽㍾㍿㎜㎝㎞㎎㎏㎜㎠㎡㎥㍑㍗㍍㌔㌘№㏍℡
㈱㈲㈹㍾㍿㍼㍽㍾㍿≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪
ⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ￢￤

。「」、・ｦｧｨｩｪｫｬｭｮｯｰｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿ
ﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜﾝﾞﾟ

謝辞：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

【補注】

(1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○